

大切なことは、あなた自身の内容

(083)

ジョン・ブラウンは、高い階層世界について述べている。

「こちらでは“死”は人間にとって飛躍の時と考えています。人が地上にいたとき何者であったのか、どんな身分であったのかということは、たいした問題ではないことがわかるようになります。大切なことは、あなた自身の内容がどうであるのか、ということ。あなたが真の価値を持っているか、真の評価を受けるに値する人間であるかどうかが重要なことなのです。

私はこちらへきて、地上時代に身分や地位が高かったために世間から偉いと言われてきた多くの人々に会いました。しかし彼らの中のある者は、とても冷酷で貧しい人々への同情心も理解もありませんでした。彼らはこれまで苦しみの体験をしたことがなかったのです。そうした人たちはこちらで、本当に大切なものが何であるのかを学ばなければなりません。それは彼らが、自分の地位・身分のために知ることができなかったものです。

貧乏人が真理を知ることが、金持ちが真理を知るよりもずっと簡単なのです。金持ちが天国に入ることより、ラクダが針の穴を通る方がずっとたやすいのです」

アルフレッド・ヒギンスは言った。

「多くの人が、地上サイドからのみ物事を考えています。そして人間は死ねば直ちに違う人間になるかのように考えています。

しかし人間は死ぬ前も死んだ後も同じなのです。ただ死後は、少し賢く、少し分別が持てるようになり、理解力が増し、忍耐力が増す、という程度です（忍耐力は“かなり増す”と言っておきましょう）。

こちらには地上で長年にわたって考えられてきた偏狭で古臭い愚かな教えは存在しません。そうした間違った教えは“神の子”である人間を救うことにはなりません。むしろ人間を神から遠ざけてしまうのです。すべての神の子は、等しく高い心境で、靈的に精神的に生きていくチャンス与えられているのです」

エレン・テリーは付け加えている。

「地上からこちらの世界にくるのを恐れてはなりません。あなたが入る世界がどのような状態の世界であるにせよ、またその世界がどれほど低い世界であるにせよ、それはあなたの地上人生の結果なのです。あなたの他界時の様子や魂の成長状況・人間性の未熟さの程度に応じて、ふさわしい世界へと赴くようになるのです。そこは光あふれる世界と比べたとき、いくぶん暗く、寂しい所かもしれませんが、しかしそこでは何をしようが自由です。また進歩しようがしまいが、すべて本人次第なのです。

もちろんもっと低い階層世界もあります。そこには未発達で未熟な者たちがいます。とは言っても、そこはこれまで地上で言われてきたような地獄ではありません。そのような地獄は存在しません。それは人間が勝手につくり出してきた考えにすぎません。

こちらでは、そこに住む人によって環境が創られますが、本人

の努力によって暗闇から上昇するにつれ、その環境自体も変化するようになります。人間はしばしば自分自身で創り出した暗闇の中で長い時を過ごすことがあります。

しかし本人が永遠の生命に対する希望を持ち始め、上昇するための努力を始めると、直ちに救いの手が差し伸べられ道が示されるようになります」

500に及ぶあの世からの現地報告スピリチュアリズム普及会

ネヴィレ・ランダル著 小池英訳